

Johnan Journal Vol.28

仙台城南高等学校

大学と接続した新しい学びの創造

新入生迎え 仙台城南 第2ステージ発進！

4月8日(金)、第56回となる平成28年度入学式を挙行し、多くのご来賓・保護者の皆様のご臨席のもと、日本のトップファッションブランド、ビームスデザイン製の制服に身を包んだ仙台城南高校4期生となる新入生428名を迎え、仙台城南第2ステージが発進しました。



久力誠 校長先生

校長式辞 (要旨)

今年は、リオ・デ・ジャネイロ オリンピック開催の年。そして、2度目となる東京オリンピックが4年後に迫ったこの年に、仙台城南高等学校は、強い志をもって本校を選んでくれた**第4期生428名**を迎えて、**第2ステージ**をスタートさせます。

皆さんは、**1600名もの受験生**の中から選び抜かれ、自らの意志で本校を選択した一人ひとりです。本当におめでとうございます。教職員、在校生を代表して、心から歓迎致します。

本校は1本目の柱である「ICT教育」推進のために、**全館をWi-Fi化し、全教室に電子黒板機能付きのプロジェクターを設置し**、どの教室でも「iPad」が使えるようになりました。これだけの環境を整えた

高校は、東北・北海道地区では本校だけですし、全国でも数校しかありません。

2本目の柱である「グローバル教育」推進のため、本校では、豊富な海外経験を持つ先生がおりますし、探究科では2年次、3年次に**中国語の講座**も開設されます。また、外国の生徒との多彩な交流体験はもちろん、2年次には特進科が**シンガポール**で、探究科と科学技術科の希望者が**台湾**で研修をします。

ところで、このように学習環境が整えば、必要とされる21世紀型の能力は、ひとりで身に着くのでしょうか？料理であれば食べるだけで、それなりに栄養になります。しかし、**能力は努力しなければ獲得できません**。ですから、学校をレストランと勘違いして、口を開けて待っているようでは、時間の無駄です。

私は、「**随所に主となれば 立つところ皆真なり**」という、臨濟禅師の言葉を大切にしています。これは、「いつまでも、自分の理想の場所を追い求めるのではなくて、巡りあった場所を大切に。そうすると、その場所は、あらん限りのチャンスを与えてくれる。」と言う教えです。一見、グローバル化と矛盾するように聞こえますが、グローバル社会は、無数のローカル、つまり私たちの日常の生活から成り立っています。ですから、「随所に主となる」力は、即ちグローバル社会を生き抜く力と同じなのです。

結びの前に、もう一度確認しておきます。それは皆さんの居場所は、今日からここ、仙台城南高等学校であるということです。義務教育を卒業して高校へ進学するという事は、人生の大きな選択です。人は節目、節目で選択を繰り返して、次第に自立していきます。しかし、いつまでも選り続け、迷い続けることは出来ません。**自立とは「覚悟すること」**だからです。いかなる場合でも自分の居場所はここだ、と覚悟したとき、そこから新しい世界が広がります。これが「随所に主となる」ということなのです。

3年後、宮城県随一の私立高校生に成長してこの学舎を離れるとき、皆さんの高校選びが最良の選択であった事を確信するでしょう。

それでは、皆さんに次のメッセージを送って、式辞の結びと致します。

Change your destiny in this Sendai Johnan High School !

「君たちの運命をここ仙台城南高等学校で変えよう！」



新入生代表宣誓
特進科 菅原颯太郎君
西多賀中出身



祝辞
学校法人東北工業大学
樋口龍雄 理事長



挨拶
東北工業大学 今野弘学長



校歌披露



第1学年担当教員紹介

城南第2ステージの決意

進化した学びのその先へ

2016年3月卒業仙台南高校1期生



◆ 特進科1年 佐藤 巨 君

金津中学校出身

建築士になることが夢です。家業が建設会社のため、幼少期から祖父や父の仕事を見てきて、次第に憧れを感じ、建築士になりたいと思うようになりました。

建築士になるためには大学に進学し専門の知識や技能を身につけ、建築士の国家資格を取得しなければなりません。そのためにも、勉強に集中できる環境で、建築で基礎的な知識になる理数系に力を入れて、人一倍勉強に励みたいと思っています。様々な夢を持った特進科の仲間達と切磋琢磨しながら励みし合っていて、得意な教科はさらに伸ばし、苦手な教科も克服していきたい。粘り強く勉強に取り組み、学力と人間性を高めて、自分の掲げた夢に向かって歩いていきます。



東北大学
伊東和宏 君
特進科
西多賀中出身

■自由を謳歌し、 勉強もキッチリ

自由な校風とユニークな生徒が多いのが城南高校の良さ。そんな中で、学校生活を満喫しつつ、勉強もしっかりやるのが特進科です。1年次から受験を見据えたカリキュラムで「真の学力」が付き、弱点も早い段階で克服できました。



立命館大学
鈴木未菜実 さん
探究科
五橋中出身

■勉強と部活の両立で 憧れの大学へ進学

小学校1年生から始めたフェンシングを続けるため、城南高校へ。高校では素晴らしいコーチと巡り会い、フェンシングの新たな魅力を発見できました。大会や遠征の合間に集中して受験指導を受け、憧れの大学に進学できました。



(株)ユアテック
藤山公 君
科学技術科
生出中出身

■実践に即した学習と 資格取得で内定を獲得

東日本大震災で電気の大切さを痛感。電気に関わる仕事をしたいと思い、入学しました。就職に有利な資格取得のための特別講義や面接指導など、先生方の手厚いサポートのおかげで、希望していた企業に就職できました。



◆ 探究科1年 村岡いずみ さん

大沢中学校出身

毎年夏に行われる吹奏楽コンクールで頑張りました。クラリネットのパートリーダーだったので、どうやったら皆で音が合うのか、どうしたらもっと上手になれるのだろうかと毎日悩みました。何回もやめようと思いましたが、3年間続けた吹奏楽から、粘り強く努力することを学びました。高校生になっても、自分の嫌なことから目を背けるのではなく、どんどんチャレンジしたい。言い訳をせず、勉強を毎日集中して取り組みたい。学校行事の実行委員に積極的に立候補して高校生活を楽しむということにも生かしたい。部活動でも、引き続き粘り強く努力して達成感などを味わいたい。高校生活の中で、中学校で学んだことをたくさん生かしていきます。



◆ 科学技術科1年 佐々木朋華 さん

桃生中学校出身

高い技術と知識を学べる科学技術科で、将来に活かせる、デザインの知識などを学びたい。また、社会に出た時コミュニケーションが重要だと思うので、タブレット端末を使った授業で、コミュニケーション力も鍛えたい。そのためにも、予習と復習にきちんと取り組み、毎日、目標を立てて過ごしていきたい。生活面では、積極的に行動します。中学校時代はあまり資格取得に挑戦できなかったのと、人見知りで自分から声を掛けることができなかったのが、高校ではこれらの課題を克服できるよう、積極的に力を入れて行動したい。私の夢を叶えるためには、高い技術と知識を、3年間できちんと習得すると共に、部活動も一生懸命力を入れて取り組み、大学進学を目指します。

対面式で伝えた気持ち



生徒会長
赤井澤朋美 さん
探究科3年
蒲町中出身

★先輩や先生とつながりを大切に！

対面式でも話しましたが、城南高校での生活がいよいよ始まります。慣れないことが沢山あると思いますが、不安なことがあったら一人で何とかしようと思わず、先輩や先生とのつながりを大切に、気軽に相談してください。きっと力になります。これから、多くの行事があります。一緒に楽しい学校生活にしていきたいと思います。

また、先輩の良いところを見習い、要望や意見がある場合は積極的に発信してください。

学校法人 東北工業大学

仙台南高等学校

特進科

探究科

科学技術科

[発行元・お問い合わせ先]

仙台南高等学校 広報室

〒982-0836 仙台市太白区八木山松波町5番1号

Tel: 022-305-2111 (代表) Fax: 022-305-2114

ホームページ: <http://www.sendai-johnan.ed.jp>



城南 HP トップ